

連合長崎第43回地方委員会を意思統一

～2018春季生活闘争・組織拡大・政治活動～

すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノコアゲ！

連合長崎は、2018年2月13日(火)14時から長崎県勤労福祉会館において第43回地方委員会を開催しました。冒頭、宮崎辰弥会長から「衆議院議員選挙・長崎県知事選について」「2020年6万人連合長崎の実現について」等について挨拶がありました。(別記)宮崎会長の挨拶の後、今回三選を果たした中村長崎県知事、民進党県連の渡辺幹事長、社民党県連の吉村代表から来賓あいさつがありました。

新規加盟組織に対する交付金の贈呈のあと、一般活動経過報告・2018年度中間選挙総括が満場一致で承認され、第1号議案「2018春季生活闘争方針」から第4号議案までの各議案が承認されました。スローガン及び地方委員会アピールを確認しました。

最後に、宮崎会長の「2018春季生活闘争勝利と政策・制度実現」をめざして、ガンバロー三唱を行い、連合長崎第43回地方委員会を閉会しました。

宮崎会長あいさつ



私は、昨年10月の定期大会で就任した際、3つの夢を申し上げました。

1. 2020年6万人連合長崎の実現
2. 連合長崎の組合員で良かったと言われるような組織にしたい。
3. まさに最終盤の衆議院議員選挙で、推薦候補者の当選をめざす。

です。

その三つの課題を中心に、本日の議題と関連させながら3点申し上げます。

一つ目は、衆議院議員選挙での推薦候補者の当選についてです。大会では、全国的に与党が3分の2を確保するかもしれないという危機感を、連合長崎として共有し最終盤に向けた意思統一ができたと思います。2区から4区は本当に悔しい結果となりましたが、長年高木衆議院議員が守ってきた議席を、西岡秀子さんに引き継ぐことができたことは、高木代議士の出身組織の基幹労連、三菱重工グループ労連の皆さんの大きな力と、地元長崎地協の頑張り、それを支えて頂いた連合長崎県下各地のご支援の力によるものと、感謝しています。

2月4日投開票の県知事選挙、大村県議補欠選挙本当におつかれさまでした。知事選は、長崎県のリーダーを選ぶ選挙ですから、4割を切る投票率には大きな問題を感じています。選挙戦全体を振り返って、私は連合長崎としての役割は果たすことができたかと判断しています。課題山積の長崎県を今後どのような方向に導くのか、「夢をかたちに」というスローガンで、中村知事は県下各地で訴えてこられました。にもかかわらず、低い投票率です。私たちを含め県民一人ひとりがしっかり考えなければならぬ問題だと思います。いずれにしても、これからの4年間は、長崎の将来を左右する重要な時期になります。私たち連合長崎は、中村県政を、働く立場からしっかり支え、働くプロとして政策提言をしっかり行っていくことが長崎県の活性化のためにも、とても大事だと感じています。

二つ目の夢は、2020年6万人連合長崎の実現につ

いてです。

連合長崎の組合員数は、減少傾向から、昨年は横ばい、今年度は600人の純増となりました。

それぞれの組織の努力で組合員が拡大している組織が増え、減少している組織が減り、現状維持の組織が増えています。連合長崎トータルでは、減少傾向に一定の歯止めをかけ、それが拡大に向かっていることを数字で示していると言えます。

組織拡大は、組織を守るために、とても重要です。その一方で、労働組合に入っていない働く仲間が、8割以上います。労働相談ダイヤルなどの相談内容からしても、本当に厳しい環境で仕事をしています。組織された私たち連合長崎が、そうした全ての働く人たちのために行動することはとても大事なことです。多くの困っている人たちのための組織拡大の意義はとても大きい、そのことを是非この委員会で確認して頂きたいと思います。

今年度、「最低一人以上」の拡大を新たな目標にしました。

連合長崎は、一人ひとりの組合員が5万人集まっている組織です。各組織も一人ひとりの集まりです。ですから、各組織が、組合員一人ひとり向き合いながら、組織強化、組織への結集を図って頂くことが、組織拡大の最大の近道だと思います。「一人」に視点をおいての「各組織：最低一人以上の拡大」、この想いを是非ご理解いただきたいと思います。そして、2年後の2020年、連合長崎結成から30年、当初の組合員数6万人まで回復し、次への一步をあゆみ出したいと思います。

三つ目の夢は、連合長崎の組合員で良かったと言われるような組織にしたい。ということです。

春季生活闘争の時期は、組織と組合員が接する機会が多い時期でもありますから、職場で何が起きているのか、組合員が何に悩んでいるのか、を把握する、まさに組織強化の絶好の機会でもあります。私が先輩から口酸っぱく言われていたのは、まず組合員の声を聞き、そして行動する。解決できても、できなくてもキチンと報告する。その積み重ねで、信頼関係が生まれると言うことです。今こそ大切にしたい言葉だと思います。

加えて言えば、それぞれの会社との労使関係で解決できないことでも、連合長崎のネットワークや、政治活動を通じて解決できることもあります。また、長崎県や各市町に対する政策要求、提言で、解決できることがあるかもしれませんが、県民・市民の生活向上につながる内容であれば、連合長崎として働く人たちの代弁者としてしっかり提言していくことで、組合員はもとより、県民市民からも頼られる存在になれると信じています。

承認された議案

第1号議案

「連合長崎2018春季生活闘争方針」

2018春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争です。「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためにも、所得の向上により消費の拡大をはかる事が必要です。そのためには、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現が不可欠です。賃金の社会的水準確保を重視した取り組みを継続するとともに、とりわけ中小企業労働者や非正規労働者の月例賃金・時給の改善のために、「大手追従・準拠からの構造の転換」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分」の運動を前進させる取り組みを進めます。

具体的には、全国で展開する「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」第3弾の取り組みと連動し、行動を展開していきます。①雇用の安定確保、②「賃金カーブ維持分」の確保とベースアップによる賃金改善、③非正規労働者の処遇改善をはじめとする全ての労働者の立場に立った働き方実現への取り組み、④中小・地場組合の賃金改善、⑤非正規労働者の労働条件改善、⑥最低賃金の取り組み、⑦男女平等の実現、などの最重要課題を改善するため、2018春季生活闘争へ積極的に取り組みます。

第2号議案

「2018年度連合長崎組織拡大方針」

連合長崎は、組織強化・拡大を最重点課題と位置づけ、連合方針である「1000万連合」実現に向けた取り組みを行っている。当面は、2020年の目標を「現在の組織人員プラス10,000名」に設定しています。今後の構成組織における組合員の減少等を考慮すると、容易に達成できる数字ではないが、一丸となった取り組みを展開していく。具体的には、①ユニオンショップ制の単組は、上部組織と連携し、関連・協力会社をターゲットに取り組みむ ②オー

ブンショップ制の単組は、組織率の拡大に取り組みむ ③全構成組織において純増「1人以上」を目指すという方針を確認しました。常に「顔の見える」活動を展開し、連合長崎・構成組織・各地協ブロックで全力で取り組みを進めていくこととします。

第3号議案

「2018年度連合長崎政治活動について」(その2)

第25回参議院議員選挙の対応については、2月10日に開催された民進党長崎県連が候補予定者を決定し、同日付で連合長崎へ推薦願が提出されたことから、①候補者を知るために、質問事項の提起や役員との意見交換の場を設ける ②六団体懇話会を開催し、支援体制のあり方等について協議する ③政治委員会や四役会議などで対応方針を協議し、条件が整えば、3月15日第6回執行委員会で候補者の推薦を決定したいと確認しました。また、統一自治体選挙については、政党、構成組織、地協・ブロックと連携し、3月中を目途に一定の方向性を確認し、連合長崎の政治委員会・執行委員会で審議した後、第44回地方委員会で確認決定していくこととします。

第4号議案

「連合長崎 役員交代」

女性委員会から選出いただいている執行委員の交代を確認しました。

また、今回は地方委員会終了後に「無期転換ルール」学習会を開催し、2018年4月から本格化する無期転換ルールについて学習し、理解を深めました。

※無期転換ルールとは：同一の使用者(企業)との間で、有期労働契約が5年を超えて反復更新された場合、有期契約労働者(契約社員、パートタイマー、アルバイトなど)からの申込みにより、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換されるルールのことです。使用者による有期労働契約の濫用的な利用を抑制し、労働者の雇用の安定を図ることを目的に規定されました。労働契約法の改正から5年が経過し、2018年4月から無期転換ルールが本格化します。



議長 梅原委員(基幹労連) 左
本多委員(JP労組) 右



中村長崎県知事



民進党長崎県連
渡辺幹事長



社民党長崎県連合
吉村代表

来賓あいさつ

3.8国際女性デー長崎集会

「みんな元気で 職場は愉快地 仕事は楽しく いきいき職場」



連合長崎は定年まで元気に働き続けることをテーマに、「ストレスケア～心いきいきで働くには～」と題して日本産業カウンセラー協会の認定講師であり長与町議でもある饗庭敦子さんの講演を開催しました。ストレスケアでまず大切なことは「ストレスに気づいて対処する」こと。それから、「考え方・感じ方を柔軟にする」「人間関係を調整する」「生活のリズムを整える」ことが鍵です。講演では自分のストレス耐性をチェックし、「怒

りに支配されない」アンガーマネジメントを学びました。ストレスがない職場は無いと思いますが、ストレスと上手く付き合う方法を学び、自分自身にも周りの人にも活かしていきましょう。



ストレスに対処する ～できることをする～

- ・ 休息(睡眠、横になるなど)
- ・ 趣味や気晴らし
- ・ リラクゼーション
(自分なりのリラックス方法でゆったりと)
- ・ 問題に正面から取り組む
- ・ 身体を動かす
- ・ コミュニケーション(おしゃべり、相談など)
- ・ 適度の飲食
- ・ その他、好きな活動なら何でも

食料品の寄付、ありがとうございました!

～国際女性デーでフードドライブ実施～

3.8国際女性デー長崎集会では、フードドライブの取組を実施し、家庭で余っている食料品をたくさん持ち寄っていただきました。集まった食料品は、長崎フードバンクシステムズを通じて、必要とされている方に寄付しました。5月のメーデーでもフードドライブを実施する地区がありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



「2018春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」 長崎地区総決起集会



連合長崎 宮崎会長



衆議院議員 西岡秀子氏



民進党長崎県連 高木代表



社民党長崎県連合 坂本幹事長

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月10日(土)10時30分から長崎市江戸町公園にて「2018春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を開催し、約1500人が結集しました。

集会の冒頭、連合長崎宮崎辰弥会長は、「今春闘の柱は2つ。1つは賃金引き上げをはじめとする労働条件改善の取り組み、もう1つは働き方改革の見直しによる長時間労働の是正だ。公務員賃金、労働組合のない企業、賃金のセーフティネットである最低賃金にも私たちの取り組みが影響を及ぼす。賃金はあがるものという常識を取り戻す春季生活闘争にしよう！長時間労働是正や非正規雇用の皆さんの待遇改善に向けた要求を今春闘で具体化していこう！」と訴えました。

その後、衆議院議員の西岡秀子氏、民進党長崎県連の高木代表、社民党長崎県連合の坂本幹事長から連帯の挨拶をいただき、たくさんお見えいただいた各級議員の皆様をご紹介しました。

集会宣言を採択したのち、連合長崎地域協議会酒井議長の力強いガンバロー三唱で集会を終了しました。集会終了後は、参加者全員で「2018春闘を勝利する

ぞ！」「非正規労働者の均等待遇を実現するぞ！」とシュプレヒコールをしながら、公会堂前広場までデモ行進を行いました。

県内各地でも総決起集会が予定されています。連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、2018春季生活闘争、予定されている中間自治体選挙の勝利に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう！



第25回参議院議員選挙「長崎選挙区」 白川鮎美氏の推薦決定！



連合長崎は3月15日に開催した第6回執行委員会において、来年夏に行われる参議院議員選挙の長崎選挙区候補予定者として、白川鮎美氏の推薦を決定しました。安倍政権の暴走にストップをかけ、市民・労働者の視点に立った政治を取り戻すためにも、連合長崎組織一丸となって支援していきます。皆様のご支援もよろしくお願いいたします。

佐世保市出身。現在、38歳。美容コンサルタント会社にて10年に渡りサロンワーク、講師業に従事し多くの女性の人生に関わってきた。

同社主催のミス・ユニバース・ジャパン長崎大会では原石を磨く教育プログラム(ビューティーキャンプ)に力を注ぎ、2年連続長崎代表が日本代表に輝いた。2015年4月株式会社Ashを立ち上げ独立。

女性だけではなく男性、そして企業のライフスタイルコンサルタントとして、外面、内面、精神面から魅力的な人づくりをサポートしている。

2018年2月から民進党長崎県連副代表。

協会けんぽ長崎支部より加入者の皆様へ、保険料率変更のご案内

平成30年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率

10.22% → 10.20%

介護保険料率

1.65% → 1.57%

※ 任意継続被保険者の方は、平成30年4月分(4月納付分)から保険料率が変わります。
※ 40歳から64歳までの方には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

都道府県支部別に「引上げ」「引下げ」「据え置き」の3種類の改定があります。当支部では、全国平均と比べて、医療費支出の伸びを抑制できたこと等から、「引下げ」になります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

加入者お一人おひとりの健康が保険料率の上昇を抑える大きな力になります。



お手元の保険証をご確認ください！

協会けんぽの保険証(水色)

保険証の下、保険者名称欄に記載されている支部名が、ご加入されている支部となります。



 全国健康保険協会 長崎支部
協会けんぽ
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話:095-829-6000(代表)
(受付時間/平日 8:30~17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館 8階

◆詳しくは、協会けんぽHPをご確認ください。

協会けんぽ

検索